

# 有宵会だより

第122号  
 発行所  
 特定非営利活動法人  
 岳島館・有宵会  
 編集 広報部  
 松戸市新松戸1-6

## 九星と易断による 四・五月の運勢

気学では辰の三碧

四月四日（清明）節入

生氣		
2	7	9
1	3	5
6	8	4
天道		

気学では巳の二黒  
五月五日（立夏）節入

ア		
1	6	8
9	2	4
5	7	3
天道		



### 四月の桜

古来より春宵一刻は値千金と言われる。最近では何処を探しても長閑な風情は見当たりません。

さて、世の中は転変激しく事件の種は尽きないものです。元旦の能登半島地震は日本中が震撼。復興の再建を祈念します。

この三月は自民党安倍政権派の裏金問題が露呈、国会鳴動、与野党の党勢はどうなるか、政治の倫理政局に及ぼす影響は大ですが、今後の展開を中筮法でみます。

本卦・沢天夫  
 （上から離乾乾震乾坎）  
 之卦・地火明夷  
 夬の辞に、夬は王庭に揚（あ）ぐ。孚あつて号（さ）げ。ぶ。厲（あやう）きことあり。

夬は三月の卦。堤防の決壊を表すので最終決断をする。不慮の菅災であるのが天網恢々（上六離）五陽爻で強烈、処断を間違うと後遺を残します。

### 一白水星の人の運勢

四月筮―火沢睽初九

五月筮―風沢中孚上九

四月は年月揃う同会でも自重運。諸事大きく狙わず小さくまとめる。仕事

交際は強気にならず柔軟に。家庭は雑用多く金銭ミス。誤解と疲労の対策。五月は牡丹やつつじを

観賞。運氣は緩やかに花開く。仕事よし愛情よし。気配りを忘れず。下旬は金銭管理と体調守る。

### 二黒土星の人の運勢

四月筮―離為火初九

五月筮―沢天夫九四

四月は平穩に過ごす。實際交流が広く、懸案の問題は解消の見込み。仕事は小さいほどきちんと

処理。見聞や観光は良いが浪費注意。体調は良好。五月は用事山積して忙しく人の手を借りる。家庭は改善策を検討。知人との仲に気を遣う。ほかの悩みは我慢して心身休める。

### 三碧木星の人の運勢

四月筮―天風姤九四

五月筮―兌為沢九五

四月は気が和み桜花を樂しむ。待たされた計画は実施の好機近し。仕事

家庭は中宮同会の今月に変わりなく、平素の陰徳の顕われか。体調は変わらず。五月は破れが付いて見

込み違いと失言用心。仕事は独断損と交通安全。利殖話は話だけで欲張らず。花粉や風邪を避ける。

### 四緑木星の人の運勢

四月筮―火天大有九二

五月筮―山雷頤初九

四月は多忙で背中を押される。仕事は荷が重い。急ぐ必要から着手。家庭

は対話不足が尾を引く。買物は予算通りでも高くつく。体調には自信あり。五月。西洋では若さの象徴と言われます。順調

運で明るさがあります。仕事はスムーズに運び、家庭は睦まじく安心。出費はあるが、満足。

### 五黄土星の人の運勢

四月筮―沢山咸上六

五月筮―地水師九二

四月は気負わず、気楽に進める。重責と複雑な問題はお断り。仕事の指示は文書で確認。商談は逃げ足が早い。趣味収集悦に入る。体調保持。

五月は悠々と泳ぐ鯉の運。交際面寛大に捉える心がけ。家事家財の今後に思索する。知人縁故の好誼で気持ち温まる。

### 六白金星の人の運勢

四月筮―天雷无妄九四

五月筮―天沢履九二

四月は公私共に慌ただしい。予定外の仕事に開拓の熱が上がる。家庭は皆で再建の希望を語り合う。さらに愛の絆が強い。嬉しい支出。体調回復。

五月の星雲は高く快い。心身に爽やかさが続く。方針と順序を変えず成果を上げる。温かい友情が心に沁みて読書が癒やす。

### 七赤金星の人の運勢

四月筮―雷地予六五

五月筮―山水蒙九二

四月になると桜前線に酔う。中旬に大事な予定あり。仕事を果たし余暇を樂しむ。わが家の食事に腹鼓。見聞に出かけ知識を得る。疲労感が残る。

### 八白土星の人の運勢

四月筮―地火明夷六五

五月筮―天火同人六一

四月は春光が温かい。日々を大事に過ごすのが尊い。仕事は技を生かしてみたい。背伸びをしな

いで一歩ずつ進める。金運弱く体調は風邪さける。五月は吉凶が混じるので一日一善を心がけて吉。何でも石橋を叩いて渡る気であれば安全。チャンスがあるとき端午の鯉が舞う。

### 九紫火星の人の運勢

四月筮―雷風恒の九四

五月筮―雷沢帰妹六五

四月は平穩に治まるので安心。力まず成り行きに任せる。温故知新から学ぶことが大きい。金銭より大事なモノを悟って喜ぶ。この身が愛おしい。

五月はこれから上向く運氣。努力の種が咲くのは下旬。次の道が現れる。家庭に活気を呼び、健康面に喜びあり。

# 一月有宵会報告

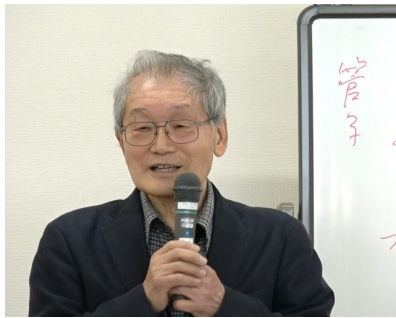
慶峰先生

一月二十七日 北千住のシアター一〇一〇において、有宵会の定期例会が開催されました。佐藤宗眩先生の司会のもと、福田先生のご挨拶に続き、複数の先生方（菅原有恒先生、佐藤宗眩先生、福田有宵先生、八川林加先生等）からご講演を頂きました。

## 第一部 菅原有恒先生

有宵会の顧問である菅原有恒先生よりご講演を頂きました。

明けましておめでとう



ございます。本年もよろしくお願致します。

私が福田先生より頂きました年筈は、山火賁初九でした。

私が中筈で出した年筈は、山沢損で上九が乾でしたので山沢損から地沢臨に変わるとも言えます。一番上で十二月とも見ることができません。決められたこと従来のはしつかりやる。勉強もじっくりやるのも良い時です。山沢損から風雷益になると良くなると言えます。

令和五年年筈は山水蒙、令和四年年筈は巽為風で両方とも中筈で行い、上九は乾でした。山沢損、山水蒙、巽為風ともに二爻陽、四爻陰、上爻陽で同じとなり三年間は変わっていないということですが、

正月で三始は元旦となり、三計とは、  
①種（穀）を植える。  
②木を植える。  
③人を育てる。  
となります。今、私の出来ることとして、八十五歳からの二十年間は、今までのものを教えること、人を育てることを中

心に行っていきたくと思っています。

また、一九九五年以降、業務日誌のような意味合いもあり、三種類の日記を書いていきます。毎日、三年、百年の三種類となります。百年であれば、おじいちゃんやおばあちゃんなど家族から聞いたことでも書いておくのも良いですし、業務、書道、旅行などのことでも良いと思います。過去の自分の歴史を残し、話すことができるメリットがあります。

また、易の卦の象と八卦に象徴する形や爻の持つ数理など、三百六十度のあらゆる角度から易を見て読み解く「象数易」であり、易経の経文から人々に示そうとした言葉を用いて判断し解釈していくこととするを「義理易」と言います。今はやさしい易ということにもこだわっております。

本として、『易学入門』（安岡正篤）、『易経』（三浦國雄）は、やさしく分かりやすい内容であり参考となると思います。

## 第二部 佐藤宗眩先生

佐藤宗眩先生よりご講演を頂きました。

本年もよろしくお願致します。

二〇二四年は、甲辰三碧中宮の年です。

甲一十千の始まりをさして、生命や物事の始まりを示しています。

五行は木性です。

辰一十二支では、唯一この世に現存しない架空の動物です。何事も伸び成長して活気あふれるという意味があります。

五行では土性となり、甲とは木剋土の相剋関係ということになります。

龍のことわざとして、「龍頭蛇尾」始めは良いが終にまとまりがない。

「画龍点睛を欠く」肝心なことが抜けている。

「登龍門」出世の為のくぐらなくてはならない門。

「龍のひげをなでる」とても危険な事をさす。虎の尾を踏むと対になって

います。

甲辰（乙巳）納音占いは、「覆燈火」（ふくとうか）で、回りを囲まれた灯籠の火のような存在。火は便利な部分と凶暴な部分を持っている。

ローカルな場所には才能が発揮できても大きな都会ではその力を発揮できない。

この様なことからスタートした一年、という事が出来ます。ある意味では、二〇二四年は何が起こっても不思議ではない年とすることが出来ます。

一月五日の朝日新聞の天声人語を紹介致します。

天声人語は百二十年前から書かれており、一九〇四年（日露戦争になった年）のその日は、「雲を呼び雨を起す」と云う辰の新年」という書き出しだったそうです。つまり十千十二支が二巡したのが、二〇二四年なのです。

（一部のみ掲載）  
●一九〇四年甲辰六白金星中宮  
日露戦争が始まる

●一九六四年甲辰九紫火星中宮  
東京オリピック、東海道新幹線開通、異常気象で東京の水飢饉、新潟地震発生

さらに遡ると、  
●一八四四年甲辰三碧木星中宮  
オランダ国王の開国勸告、フランス軍艦沖繩（琉球）に来航、米国と清との条約締結、フランスと清との条約締結

今度は辰年の三碧木星中宮の年としてみると、  
●一九八八年（昭和六十二年）戊辰三碧木星中宮  
青函トンネル開通、東京ドームオープン、リクルート事件発覚、ベン・ジョンソン氏がドーピングで金メダル剥奪

さらに遡ると、  
●一九五二年（昭和二十七年）壬辰三碧木星中宮  
もく星号墜落事故、白井義男氏 日本初のボクシング世界チャンピオン、ヘルシンキオリンピック開催、十勝沖地震発生

今年（二〇二四年）は、一月一日から北陸におい





て能登半島地震が発生、二日には飛行機事故と何かと不安になる事ばかりです。私も鑑定依頼で、家相・風水鑑定の依頼が多くありますが、その中で「今度こういう土地を購入したいですが、どうでしょうか。」と尋ねられることが多くあります。今までは、土地の地盤の問題を知るために、その土地の役所に出向いて聞いたたり、役所に電話で尋ねたりしてお客様に鑑定結果を伝えていたのですが、二年前から「地盤サポートマップ」というアプリを使って結果を伝えていきます。

の可能性はあるか、水害はどうか、という点が分かり、災害時の避難場所も教えてくれます。まずは、自宅の住所を入れて、自分の家が安全かどうか、是非活用してみてください。

### 第三部 福田有宵先生

福田有宵先生よりご講演をいただきました。

「大寒の水、寒の水を御水取りとして頂く場合、どのような位置づけとなるのか」とご質問がありました。

一般の素人としてのお客様からのご質問ということでしたが、なかなかベテランになるとそこまで考えることも無いかもしれません。新鮮さも無くなってくるのかもしれない。どこの水が良いか？

吉方であれば良いか？

深さはどのくらい掘る必要があるのか？

地下室などの暗いところに置いたとしても、水は時間が経てば腐りますのでどれくらいまでもつ

のか、飲料としても大丈夫なのか、という点があります。

皆様も今後、いろいろと研究されていくと良いと思います。今回の震災においても水は最も困難な作業であり、かつ水は貴重なものでもあります。

また、菅原先生の正攻法の易がどのようなことを示しているのであろうか。毎日毎年書いている手帳の中の価値としての宝物を誰に託してゆくのか？ということもあります。何を残していくのか？ということが大切となります。

佐藤先生のように、文明の力を活用した通信機器を用いて応用されていることは、とても意味があると思います。

私の方からも辰年というので、お話をしたいと思います。龍の姿としてもいろいろなものがあります。

住まいの大川法祥先生から、「関西での龍神様のお参り」の状況について、三月号の会報誌に載せさせていただきますのでご参考

になさってください。

龍神系の神様は水神系であり水を伴うのですが、過去の時代は祈禱を行ってきた訳です。

辰年ということで今回は、「龍に九似あり」というお話をします。出典は『語源』『十二支物語』で、この中に書かれているのですが、「尔雅」(じが)という本は中国古来の辞書なのですが、それを説明した「尔雅翼」(じがよく)という解説本の中に、「龍に九似あり」と九つの似たものがあると言っています。次に説明をしています。

龍の角は鹿に似ている。

頭はラクダに似ている。

目は鬼に似ている。

首(うなじ)は蛇に似ている。

腹は蜃(「みずちで、蛇のこと)に似ている。

鱗(うろこ)は鯉に似ている。

爪は鷹に似ている。

掌は虎に似ている。

耳は牛に似ている。

そして喉のところ一枚だけ逆に生えたウロコが生えています。このウ

ロコは龍にとっても極めて大切なものらしく、もしもこれに触れるものがあれば、龍はたちまちに激しく怒り出して、その触れたものをとり殺してしまおうとされています。

龍は霊物とされて、天子を龍にたとえるので「天子の怒に触れる」とを「逆鱗に触れる」とも言います。お子さんなどから聞かれる時には、九種類あり年をとるごとに姿を変えてゆく、つまり生まれ育て、若くして成長してゆく、最後には朽ち果てる時となります。そして、悟りを得られて、学びの本質を得ることです。

例えば、中国では龍神系の姿がありますが、万葉集、古事記、日本書紀に書かれている部分もあります。学者によつてはその様にとらな

いと異なる説もありま

す。日本では龍神系の神様で、建御雷神(たけみかづち)を表わしています。また、朝鮮系やその隣から文化が入ってきて来

みるのもよろしいと思います。

中国の古代には、空に出る虹や竜巻を龍神の姿として表しています。

また、龍にうかんむりを付けると「龍」となります。「ちゅう」「ちよう」と読みます。「龍愛」ということで、龍愛の龍の字は、龍を屋内に困つて大切に養う様子などを表わします。

また、龍には、オスとメスがあります。オスは龍、メスは「ち」とも言います。東照宮でも、昇り龍、降り龍の姿があります。

また、龍の目は、どこからでも見ているように見えるため、八方睨みと言います。

次に、有宵会の会報をご覧くださいと思います。



内容についてご質問を頂けるとより、発展していくことになりませう。

菅原先生のお話の中で、易は六十四卦ありまして、天の卦は内卦で八種類、外卦で八種類あります。同じものもありませんので、十五卦ある訳です。

また、事務局長の八川先生ですが、神道にも詳しく様々な部分で情報収集されておりませう。特におみくじ信仰には、とても詳しく精通されておりませう。バトンタッチしたいと思ひませう。

## 第四部

### 八川林加先生

八川林加先生よりご講演をいただきました。

有宵会では、東日本大地震や熊本地震など震災や災害の復興にお役立ていただくため、会員の皆様からお預かりした義援金は、日本赤十字社を通じて寄付をさせていただいておりませう。また、代表の先生方におかれましては、直接現地に行つて寄付金をお納め頂いたこともありませう。

今回、長年の活動は「日本赤十字社銀色有功章」という形で表彰を頂きました。

次に、「第十一回展覽会わくわくきんぐくコミュニティ広場」内の無料鑑定会のご報告をさせて頂ひませう。

会場は、足立区勤労福祉会館の第三洋室という、四十五名位入るお部屋になります。

入り口は、部屋の中心からみて南東の方位となります。今回は、入り口と鑑定会場内の各ブース方位が家相の影響を受けか、について検証をしておりませう。

鑑定人数は、百七名となりましたが、午後にお客様が集中してしまつたこともあり、ご相談を諦めて頂くという状況がありました。今後の課題といたひませう。また、鑑定状況や、感じた事など、本日例会にご出席されている先生方にお話を伺ひたいと思ひませう。

#### ○鑑定士

慶峰先生、秀和先生、金原先生、岩崎先生、泰山先生、福田先生、宮田先生、八川先生

先生、福田先生、宮田先生、八川先生

○受付  
鬼頭先生、阿部治氏

○部屋の鑑定士配置方位

北（慶峰先生）  
北東（秀和先生）  
東（八川先生）  
南東（金原先生）  
南（岩崎先生）  
南西（泰山先生）  
西（福田先生）  
北西（宮田先生）

### 八川先生・東

お問い合せ対応の事などを考えて入り口近くの東に座りました。

受付は、初参加の鬼頭先生と、阿部治氏の二人です。行者様でもある鬼頭先生がご相談者のかたを割振りしてくださつたので、先生がたにも何か与えられた使命というものがあつたように思ひませう。

鑑定人数は十九名。若い男性や小学生のお子様を連れてご夫婦が中心で、仕事運やお子様の将来についてなど、前向きなご相談が中心でした。

### 金原先生・南東

南東に座り、十七名位を鑑定させて頂ひませう。

今回のテーマは、筮竹を使って鑑定するということで行つてみました。初めはなかなか慣れないところもありませうが、終りの頃には大分慣れてきた感がありました。

相談内容としては、来年の運勢とか、恋愛相談が二、三件ありませう。年齢も若い人ではなく四十代過ぎの方が多く、恋愛、人間関係などが主であつた気がひませう。

### 岩崎先生・南

鑑定人数は十八名位で六十代以上の年配の方が多かつたです。

相談内容としては今後どのように過ごしたら良いか？仕事を続けたら良いか？また、なかなか人に仕事を任せられず、今後どのように人を育てて任せて行つたら良いかという相談もありませう。

中年クラスの女性の方が多く、前向きに生活を送られていたと思ひませう。傾向として今年の四緑中宮の方が多かつたかなと思ひませう。

皆様も無料鑑定会など

で経験されてみるのも良ひと思ひてひませう。

私のところの相談としては、結婚の相談、お子様の進学や就職、相談などの相談もありませう。

### 宮田先生・北西

また、鬱を持てひいる方が家庭のことの相談の件もありませう。昨年も来られたリピーターのお客様もあり、時間的に長くなるケースもありませう。他には、家族全員の五人分の命式を出すことになり、大変だつた案件もありませう。また、カップル二人（三碧男性、五黄女性）のお客様で、なかなか今年に結婚の時期として勧めにくく、大変な事例もありませう。

### 慶峰先生・北

手相、傾斜法などを使つて、十一名位見ませう。やはり、女性が多かつたです。内容としては、運勢、仕事（五十代男性）の相談がありました。

星としては、七赤金星（変化運）、九紫火星（坎宮）の方が多かつたと思ひませう。内容として、家族のこと、お子様の相

談が多く、他には今後の金運がどうなるかということも多かつたです。

北の坎の場所ということでも重い話も多いかなと思つたのですがそれほどでも無かつたです。

### 秀和先生・北東

トータル約十名位見ませう。鬼頭先生が連れてひらつしやるお客様は、八白、五黄の方がほとんどでした。七名位は、八八（本命月命）、八八のような方が多く、我が強い方が多かつたです。普通の就職といった話はほとんどありませうでした。

その中で特に印象が残つてひいる八八の方から、「私は友だちがいないのです。どうしたら友達がひきますか？」というご相談がありました。皆様なら、このケースをどのように鑑定しますでしょうか？

この八八の方は、大阪から五、六年前に引越して来ており、友達を食事に誘えないでひいるということひです。今年には八白が坎宮に来てひるので、我慢して勉強してひいくと良ひですと言ひませう。

あなたは努力家なので頑張っているいなさいとも伝えました。とても個性のある方が多かったです。

鬼頭先生(受付)

午前中は出足が遅かったのですが、午後はかなり押せ、状態となりました。鑑定師の先生が空いたらすぐにお客様をご案内するという状況でした。一番大変そうであったのは宮田先生で、鑑定が長時間で難しい案件を抱えているようにお見受けしました。

泰山先生は、ベテランで落ち着いておられ、難しいご相談を希望されているお客様がいた場合でもご案内してよいと、予め了解を頂いていましたので、心強かったです。今後の課題として、気軽にご来場いただくためにはどのような案内をすればよいかや、鑑定までの待ち時間の表示に工夫があると良いと思います。

\*正確な鑑定人数は、鑑定報告書に基づき別途算出してあります。

特別寄稿

◇日本は龍の国◇  
大川法祥先生

(令和五年師走・記)

『家庭画報 新春特大号』に「辰年の開運祈願 龍神絶景を行く」と題し、松をバックに表紙を飾っていました。頁をめくれば「開運招福社寺と伝説を巡る 龍神絶景を行く」と有り、京都妙心寺法堂の雲龍図「八方睨みの龍」がその特集の中で大きく取り上げられていました。かつて、新井白蛾先生の菩提寺である金沢の宝勝寺(臨済宗妙心寺派 太白山 寶勝寺)を訪れ、先師の墓参をいたしました時、ご住職から「八方睨みの龍」が写された大きなタペストリーを記念の品として賜りました。

この雲龍図は、見る場所により、昇り龍にも降り龍にも見える狩野探幽の傑作ですが、私にとっては、新井白蛾先師のご縁を繋いでくれている龍神でもあります。

日本人にとって、龍とは、龍神信仰とは一体何なのでしょう。そのパワーが獲得できる「龍脈」や

「龍穴」はどこにあるのか?

日本は、龍の国。良く見ると日本列島そのものが龍体の様…。

北海道は頭、本州は胴体、九州は尾であるといわれています。

・昇り龍 天橋立。昇龍観といわれ、日本三景のひとつ。

・ドラゴンアイ(秋田県) 雪解けの頃に現れる神秘のブルーアイ。

・戸隠神社(長野市九頭龍社) 龍神信仰の中心地。

・対馬南端の神功皇后ゆかりの地では、海が龍神。

また、『家庭画報 新春特大号』の特集には、祖山・富士山とつながる龍神スポットを地理風水師の御堂龍児さんが案内され、実際に現れた龍雲の写真も説明されていました。

―妙心寺の天井画―

雲龍図について―

龍と出会って福を呼ぶ。龍は仏法を守護するといわれています。龍を見つめたら昇り龍の姿を察してお堂を一周します。

明暦二年(一六五六)法堂の鏡天井に狩野探幽により描かれた「雲龍図」。

どこから見ても龍と目が合うことから(私も経験しました)、「八方睨みの龍」と呼ばれます。睨みと言っても守護神らしい優しい眼差し。角度により昇り龍の姿が現れます。

古くから日本では、川や池、沼等、水の有る所には主(ぬし)がいると考えられ、水を支配する神の化身や神の使いが龍神(蛇)だと考えられています。

私達に限りない恵を与えてきました。水は命の源。

日本の自然信仰にあった水神や龍神(蛇神)と結びつき、独自の龍神信仰が生まれたのです。

やがて龍神は、雨を降らせる神から、稲作の豊穡神や天候を司る神として信仰されていく様になります。五穀豊穡をもたらす事から、金運や仕事運を上げるともつなげられました。龍は水中に棲み、天に昇るイメージから、運氣を上げる縁起の良いイメージが出来上がっていったのです。

皆様にとって、よき年でありますように。

【NPO通信】

◎「日本赤十字社 銀色有功章」授与のご報告

有宵会では、皆様からお預かりした寄付金を赤十字活動資金への協力として納めて参りましたが、この度「日本赤十字社銀色有功章」が授与されました。

この表彰は、一時または累計で一定の金額に達した個人・法人に贈呈されるものですが、皆様から長年にわたり少しずつ積み上げてきた善意が表彰というかたちになりました。

表彰式は、令和六年一月二十四日に行われ、会を代表して福田有宵先生がご出席されました。改めて皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

◎賛助金のご報告

次のかたがたより、有宵会活動への賛助を賜りました。

皆様からのご厚情に心から御礼申し上げます。

令和六年二月二十九日現在(敬称略・順不同)

伊藤璃香 小沼麗華  
久保田恵都予 慶峰  
金原玄周 阿部治  
岩崎杏泉

\*賛助金を銀行振り込みでお送り頂いた場合は掲載が遅れることがあります。何卒ご了承ください。

◎能登半島地震災害義援金募集について

有宵会では、能登半島地震で被災された方々をご支援するため、災害義援金を募集いたします。

皆様からお預かりした義援金は、有宵会が責任をもって関係機関にお納めいたします。すでにご賛同をいただいているかたもいらつしやいますが、活動にご協力をいただけるとは、有宵会の例会開催会場受付、または、福田有宵先生・佐藤宗眩先生にお声かけください。

◎行事・活動報告

◆江東区東大島文化セン



ター様主催 体験教室  
「スプリングサンデー」  
占いコーナー（無料）

・日程／令和六年

二月十一日（日）

・場所／東大島文化セン

ター

二階第五研修室

・鑑定人数 七十一名

・出演者 八名

（敬称略・順不同）

（出演者）

佐藤宗眩

アクア・マルム

卯月亨 慶峰

野口宗恩 浜口リラ

宝彩 南亜希

鑑定会報告

佐藤宗眩先生

今回の東大島の鑑定会では、来場者の数が例年より少なく、特にお子様  
の鑑定に関しては、幼児  
二名のみとなり、大人の  
女性からのご相談が中心  
となりました。

鑑定後は、女性のお客  
様十名以上、男性のお客  
様は三名のかたから、感  
謝のお言葉をいただきま  
した。お客様にとっても  
十分ご満足をいただける  
ご相談がなされた様にお

見受けしました。鑑定を  
する側も落ち着いた鑑定  
が出来た状況でした。

◆江東区総合区民セ

ンター様主催

「ら・館まつり」占

いコーナー（無料）

・日程／令和六年

三月三日（日）

・場所／江東区総合区民

センター

・鑑定人数 八十八名

・出演者 六名

（敬称略・順不同）

（出演者）

佐藤宗眩 卯月亨

アクア・マルム

野口宗恩 南亜希

佐々木敦子

鑑定会報告

佐藤宗眩先生

当日は、通常よりも少  
数精鋭の六名で鑑定会に  
参加をいたしました。当  
日のお客様からの反応に  
ついては、区役所の職員

より後日連絡があり、  
「今回はいつあるのか？」  
という、嬉しいお問い合  
わせがあった旨、ご報告  
を頂きました。また、今  
回のお客様の中には、

「別日に直接鑑定をして  
いただきたいので連絡先  
を教えてください。」といっ  
たメール連絡もいただき  
ました。有宵会では、プ  
ロとして活躍されてい  
る先生方においても、勉  
強の場として無料鑑定会  
にご参加をいただいてお  
ります。一人でも多くの  
ご相談者に元気で楽しく  
暮らしていただけるよう  
占術家として日々精進し  
て参ります。

◆次回号掲載のご案内

この三月には、まつど  
活動サポートセンター様  
主催「こどもは、みらい。  
みらいフェスタ2024」  
にも、占いコーナーとし  
て参加をさせていただい  
ております。  
会報誌編集上の都合に  
より、次回号でご報告さ  
せていただきます。

◆日時／令和六年  
二月二十一日（水）  
有宵会初参り  
・場所／検見川神社様  
・参加者 七十名以上  
・祈願件数 九十七件

（参加者）  
（敬称略）  
―運営事務局―

福田有宵 佐藤宗眩

岩崎杏泉 安齋美佐

金原玄周 阿部治

八川林加

（敬称略・五十音順）

市原敬子 卯月亨

大鷲公子 岸浦光伶

河野有泉 小宮有理

甲本安紀子 近藤幹恵

佐々木陽子 渋谷由紀

子 秀和仙宵 杉本侑

穂 富澤岑子 友部れ

い子 長澤光祐 中島

みゆき 濱野延珠 深

町侑未 南亜希 宮田

麻有 山下チヅ子

その他、有志の五十名

以上が参加

初参り当日は、小雨模  
様で、かなり寒い一日で  
したが、福田有宵先生や  
有宵会とご縁のある大勢  
の方にお集まりをいただ  
きました。

検見川神社様は、八方  
除けで名高い神社ですが、  
一人ひとりの願意に対し  
ても、大変丁寧なご相談  
とご提案を重ねてから願  
意の決定となります。  
例えば、旅行安全の祈

願であれば、旅行の期間、  
行先までを含めて御神前  
で祝詞奏上をしてくださ  
るのです。

拜殿では、各々が玉串  
奉奠の後、一心に願いの  
成就を祈願いたしました。

また、今回は、検見川神

社様のご厚意で、参加者

全員が白龍の張り子に入っ

た特製のおみくじを賜り

ました。思いがけなサブ

ライズに、参加者一同は、

ハレの日に相応しい明る

い笑顔で歓談の花を咲か

せておりました。

検見川神社様には、こ

の場をお借りして厚く御

礼申し上げます。

\*今回の初参りでは、直

接事務所で御祈願のお申

し込みをされている方も

あったため、会員のご氏

名は、全てのご参加者を

網羅できていない可能性

がございます。何卒ご了承

ください。

い申し上げます。  
◆令和六年一月入会  
（敬称略）  
天道仁

◆次回の例会情報◆

日程／令和六年

五月二十五日（土）

午後一時～五時

会場／

足立区勤労福祉会館

プルミエ第二洋室

（千代田線 綾瀬駅西

口 徒歩三分）

\*今後とも、例会およびイ

ベント内容は、直前に変

更・中止となる場合がございます。

ご了承ください。

◆令和六年一月例会

参加者

一月度は、四十四名の  
かたがご参加をされまし  
た。また、会の終了後は、  
有志の十八名が集い、懇  
親会を開催いたしました。

事務局長 八川林加

◎新規入会者ご紹介

新たに一名のかたが有  
宵会にご入会されました。  
今後とも、よろしくお願